

まちの駅・近永ふれあい館 必要諸室等

場所等	配慮事項	
全 体	配置条件	・隣接する住宅地、周辺の民家等に対する騒音、またホームとの接続（動線）、駅前広場との一体利用等について、特段に考慮した配置とする。 ・隣接する住宅等に圧迫感を与えないよう配慮する。
	外観・設計・デザイン等	・学校林を使用（用途は自由）し、経済性と耐震性、耐久性（降雪）等を考慮した設計とする。 ・外観、デザイン性とも「近永駅で降りて利用してみたいくなる施設」となるよう配慮する。 ・施設全体の動線に配慮し、広く明るく落ち着いた空間を基調とする。 ・適正な安全を確保し、利用者の目線に配慮したつくりとする。
	防犯・防災	・施設内外を防犯カメラで、事務室（管理人室）で館内に出入りするすべての人を把握しやすく、また非常時にも対応できるシステム機能等を導入する。 ・有事の際の避難経路を確保しやすいつくりとする。
	室内環境・部材	・オール電化とする。 ・事務室及び交流スペースには調節可能な冷暖房設備、L E D 照明等を完備する。 ・自然採光や通風も考慮した設計とする。 ・利用者がゆったりくつろげる環境に配慮し、汚れが目立たない部材についても考慮する。
	駅前広場等	施設、ホーム、駅前広場は一体的な空間となるようなアイデアを盛り込む。
諸室	事務室 （切符販売所）	・施設全体の動線に配慮した位置に配置する。 ・常時勤務する管理人は1名であるが、2名が執務できるスペースを確保する。 ・設計にあたっては、管理人の意見を聞きながら進めること。 ※現駅舎に設けている保線区事務室は今回の施設には不要
	交流スペース	・予土線やバスを利用する高校生等が、待ち時間に読書や宿題をしながらくつろぎ、交流できるスペースとする。 ・一度に20名収容できるスペースを確保すること ・鬼北町におけるJ R予土線の玄関口として、情報発信ができるガイダンスエリアを設ける。 ・まちの駅に取り入れたらよいと思われるスペースを提案すること。
	トイレ	・管理人、利用者用の男女別トイレ（乾式）、障がい者の多目的トイレを設置する。管理上、屋外から入れる出入口は設けず、施設内に入って使用できるトイレとする。
屋外	倉庫	駅前広場のイベントなどに使用する物品を収納できる倉庫（3m×2m程度）収納庫を設ける。
	屋外電源・水道	駅前広場のイベント時に使用する屋外電源（10口程度）、水道設備を設ける。
	駐輪場	・バス、予土線利用者の駐輪場（15～20台）を設置する。

